

59年の技術ノウハウがある鉄筋加工会社 革新性のある「鉄筋結束具」を開発

昭和30年に創業し、昭和35年から、コンクリートの補強材として使用される、鉄筋の加工を行っている。同社が加工した鉄筋は、身近なところでは、橋の基礎や崩落防止用品に用いられるほか、道路の側溝やその上の蓋にまで使用されている。鉄筋の大半は人目に触れることはないが、社会にとって必要不可欠な製品である。特に、下水用マンホールの鉄筋については全国シェアの50%を有する。平成23年5月からは鉄筋加工技術を応用し、有害鳥獣用捕獲檻の製造・販売を開始している。

- 所在地 兵庫県朝来市和田山町土田285
- 電話/FAX 079-672-2896 / 079-672-1240
- URL <http://t-takemori.jp/>
- 代表者 代表取締役 竹森 寛

- 設立 1955年
- 資本金 1,000万円
- 従業員数 43人



需要獲得

「鉄筋結束具」は国内販売をステップに、海外市場へ進出

鉄筋は潮風によって腐食、塩害を受ける。エポキシ樹脂加工された鉄筋は塩害を防ぐが、組立結束に時間と技術を要する。同社が開発した「鉄筋結束具」は、特殊樹脂加工の金属線をクリップ状に加工したもので、簡単に結束ができ組立を容易にする点が革新的であり、まず国内の土木・建築業界へ販路を拡大する。次に、国際インフラ工事に携わる大手ゼネコンに対して販売展開し、今後、東南アジアへの進出を構想している。



同社が開発した革新的「鉄筋結束具」

企業間協力関係を確立し、地域の雇用確保にも貢献

創業の地、兵庫県朝来市の和田山工場で「鉄筋結束具」を製造している。次に、それを西脇市の同社兵庫工場及び神戸西区にある丸栄コンクリート工業株式会社の神戸工場に運び、強度確認を行う。地域企業同士で協力して、確認を実施している。外注先とも協力関係を確立している。「鉄筋結束具」のエポキシ樹脂用クリップは三井物産鋼材販売株式会社やトワロン株式会社などに協力を仰ぎ、開発したものである。



地域企業同士で協力して、強度確認を実施

組立方法はシンプルかつ容易で、誰でも組み立て可能

同社では、「鉄筋結束具」だけではなく、それと共に使用する作業用工具も開発している。それを使うことで、高度な技術を持たなくても、誰でも、エポキシ樹脂加工の鉄筋を容易に組み立てることが可能となる。日本海側、特に北陸以北では道路橋が塩害に遭っており、塩害に強いエポキシ樹脂加工鉄筋に対する需要増が見込まれる。人手不足のコンクリート補強材業界において、時間短縮及び技術者不足の解消につながる結束具の使用価値は高く、競争力が認められる。社員は地元からその都度採用しており、地域の雇用確保にも貢献している。



「鉄筋結束具」と共に使用する作業用工具

ものづくり